

診断京都

No.74

(題字 品川相談役理事)

2003年 秋季号

社団法人 中小企業診断協会京都支部



紅葉の美しい季節となりました。皆様いかがお過ごしでしょうか。

先日、「当社にも中小企業診断士は多数おりますが、いざ再生支援となると、財務分析はできても具体的に何をどう支援したらいいのか分からず、力不足を痛感しました」(H県、S社)という話を聞きました。資格を死格に終わらせないよう、研鑽に励みたいものです。時節到来!?

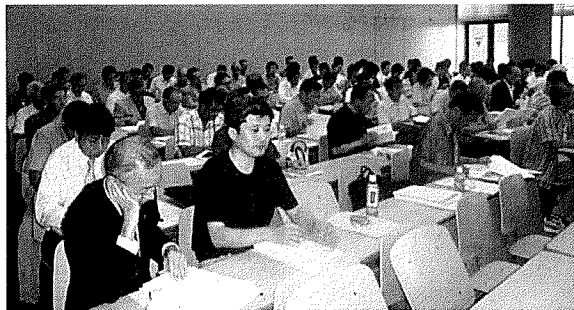
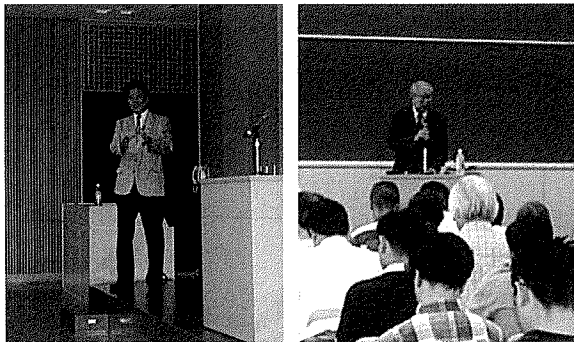
特集 平成15年度“上期を振り返って”&“下期に向けて”(支部長、副支部長)

レポート 更新研修(P1)、異業種交流会、独立診断士の事務所訪問(P4)

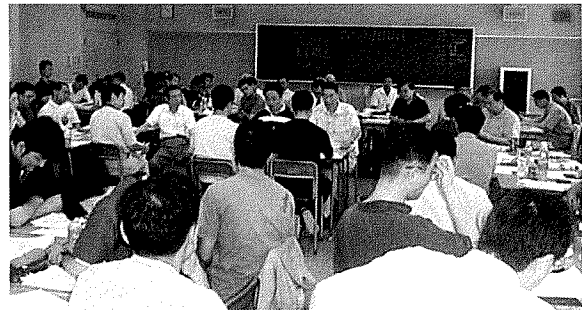
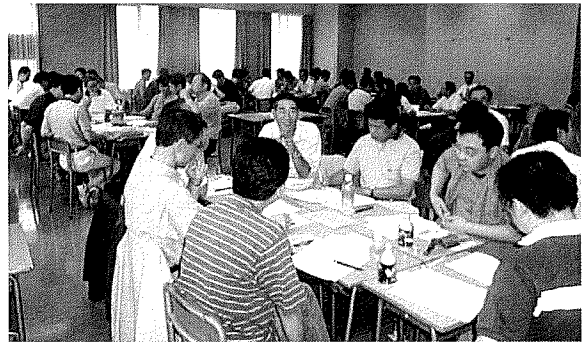
連載 企業内診断士のつぶやき、診断士くん(P4)

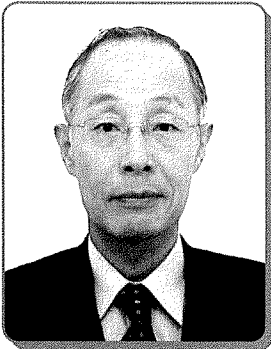
●更新研修レポート●

日付/会場：8月3日・キャンパスプラザ
研修名：理論政策
講師/テーマ：山下晃正氏/京都府の産業振興策について
岸田道彦氏/中小企業の再生支援と倒産防止
参加者数：114名



日付/会場：9月7・8日・池坊短期大学
研修名：実務能力
講師/テーマ：坂田岳史氏・山脇康彦氏
喫茶&焼きたてパンの新店舗計画
参加者数：70名





支部長

安田 徹

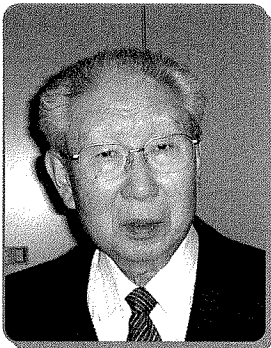
支部会員の皆様には日ごろより支部活動にご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、上期を振り返りますと、第44回支部総会、近畿ブロック6支部による経営革新事例発表会、診断士資格更新研修、毎月の経営革新支援研究会等々、多くの研究会や活動が実施されました。嬉しいことは、こうした活動が一部の会員によってなされたのではなく、古参の会員、新しい会員の区別なく、多くの会員の皆様が前向きに参加して

いただいたことです。こうした中から、多くの会員相互の理解が深まり、さらに各人の能力をいろいろ組合せることで、新規の業務開発や研究会の発足につなげて欲しいと考えています。

下期においても、兵庫支部との交流会、会員研修、ビジネスパートナー交流会への出展等、様々な研究会や活動が沢山予定されています。会員の皆様におかれましては、上期同様、自ら積極的に支部活動へご参加いただくとともに、様々な業務開発や研究会のご提案をいただきますようお願い申し上げます。また、来年は支部創立45周年を迎えます。周年行事に対する皆様のご意見、ご提案もお伺いしたいと思っています。支部事務所の方へ、お知恵をお届けいただければと思います。

平成15年度下期に向けて、会員の皆様方の益々のご健勝とご活躍、ならびに支部活動へのさらなる積極的なご参加を祈念いたします。



副支部長

岸田 道彦

協同組合担当という立場からしますと、今年度から来年度へかけては、環境情勢は大変厳しく、業績は前年度比で低下することはほぼ確実と見られます。それは当初から、当面ある程度まで自力がつくまでは、まず、行政の予算に頼って行こうと

考えたのですが、それが緊縮的になってきていることによります。

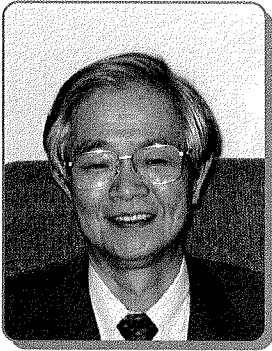
で、先般来、業務開発委員会が発足して、いくつかのグループで新分野開拓に挑戦されていますが、これの成果に期待しているところです。他面、行政関連でも、「中小企業の活性化・創業支援・再生支援」などへの動き・模索は極めて活発で、いろいろなスキームが考えられつつあります。これらに対応するには、やはり中小企業診断士個々のスキルアップ、また他の診断士や弁護士等、異分野の専門家の方々との連携力も必要です。今年から来年へかけては、こうした課題が多くなって行きそうです。

下期の活動予定

月	主な行事・テーマ	月	主な行事・テーマ
10	理論政策更新研修、経革研	1	会員研修、新年祝賀会
11	診断実務研修、兵庫支部との交流会、経革研	2	経革研、ビジネスパートナー交流会
12	診断実務研修、会員研修、経革研	3	経革研

(経革研:経営革新支援研究会の略)

返って”&”下期へ向けて”



副支部長

玉垣 勲

I. 平成15年度、新布陣で臨んだ新たな展開

- (1) 診断京都15年度第1号(夏季号)発行
発行部数：300、配布先：会員診断士、
診断協会本部・各支部、
京都府内主要関係先
- (2) ホームページ随時更新
(Web マスター：坂本氏、担当：杉原氏、
鳥井氏)
- (3) 会員数の推移

15年3月31日現在	上記の入会・転入	上記の退会・転出	15年9月30日現在
121名	6名	6名	121名

- (4) 会員への連絡網(担当：玉垣 支部メルアド、
対外的な窓口兼務)

(平成15年9月30日現在)

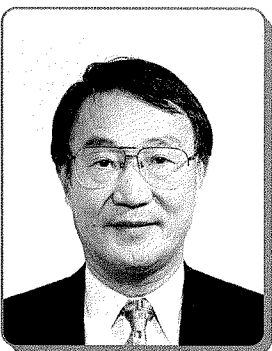
メーリングリスト参加者	FAXでのご案内
72名	26名

- (5) 総務関係事務全般
田中さんのご尽力により、拡充した。

II. 下期に向けて

引き続き、会員サービスの向上と対外的PR努力を地道に重ねていきます。

- (1) 診断京都：11月に、平成15年度第2号(秋季号)を発行します。
- (2) 支部HP：さらなる充実を図ります。
- (3) 会員増強：平成16年3月31日現在で、会員数「125名」を目指します。
- (4) メーリングリスト：活発な情報交換を期待します。
- (5) 総務全般：田中さんとの連携に配慮して行きます。



副支部長

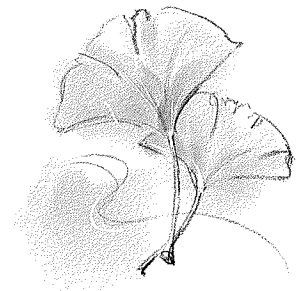
山崎 忠夫

早いもので、あっという間に上期が済んでしまったという感じです。あたふたと就任してしまった経緯もあって、皆様のお荷物になってしまっていたのではと、心苦しく思っています。

初仕事は更新研修でしたが、何も分からず支部長をはじめ皆様に“おんぶに抱っこ”の状態でした。おかげで、何とか「無事終了」にこぎつけられました。関係者の皆様、本当にありがとうございました。

した。上期は概ねそうだったところでしたが、診断士会の方で何とか「受注」を獲得できて、間接的ではありますが、少しは貢献できたかなと思っています。

下期への決意というほどの大そうなことは言えませんが、少しでも早く業務の全貌を掌握し、皆様のお役に立てるように頑張りたいと思っています。よろしく願い申し上げます。



異業種交流会レポート

7月11日(金)、大同生命ビル10階において「TKCとの異業種交流会」が持たれました。今後、月1回程度のペースで診断士が出向き、講演等を行うことになりました。「今後も、こうした異業種との交流は積極的に図って行きたいと思っています」(支部長 安田)

独立診断士の事務所訪問



今回は、坂田岳史さん(有限会社ダイコンサルティング社長)を訪問しました。

理念：「一期一会」その瞬間を大切にします
<http://www.daiconn.co.jp>
 こちらのアドレスにも訪ねてくださいネ。
 メールマガも発信してま〜す!!!

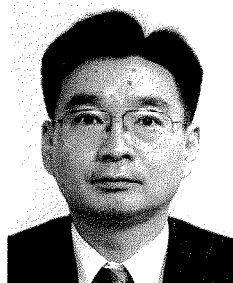
企業内診断士のつぶやき

菅沼 文明

「企業内診断士に求められる資質とは」

経営トップと同じ視線で、何事も見ている事だと考えている。

つまり、企業は、自社の限られた経営資源を活用し、やりたいことが多くある中から、予算を配分し、効率よく、収益を挙げられる事業・製品・商品・サービスに集中投資する必要がある。



従って、経営者は、市場性についての、多面的な、ものの見方と、予想されるリスクを事前に、的確に判断し、どの分野に投資すれば、最大のリターンが得られるかを、判断することが求められている。

よって、この意思決定に、企業内診断士が、参画できれば、仕事のやりがいは、十分ににあると思う。

その為には、企業自身の、経営資源の実態を、常日頃から、正確に把握していくことが、診断士には求められている。

最近の、経済情勢の中、バブル時代の、事業の多角化から、デフレ下における、本業回帰へと、企業活動が変化してきている。

その中で、更なる新たな、収益確保を行うには、相乗効果が得られる分野への目利きが必要とされる。

最後に、皆がハッピーといった、時代が終焉し、生き残りをかけて、皆が、必死にもがいているというのが、今の時代であり、絶えず、スキルの向上を目指し、頑張ろうと思っている。

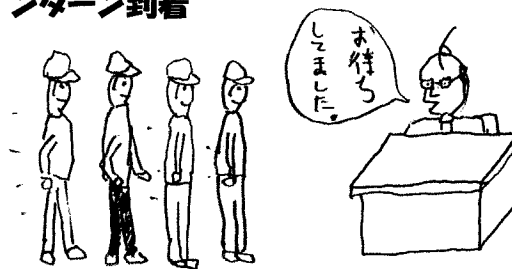
何せ人生は、これからなのだから。

※次回新年号は、1月中旬の発送を予定しています。

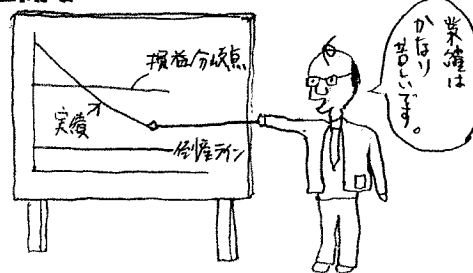
△ 診断士君 ▽

~インターン~ BY 西河 豊

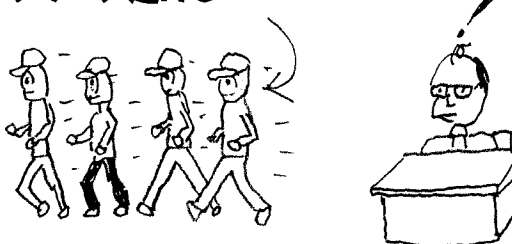
インターン到着



会社概要



インターン逃げる



ぴゅう〜



教訓

インターン実習には
 そこそこの企業を
 選びましょう。

(注)診断士が書いて
 ますので漫画は
 へたくそです。

診断 京都

No.74

2003年10月31日発行

社団法人中小企業診断協会京都支部

〒600-8009 京都市下京区四条通室町東

京都産業会館内

TEL (075) 213-7980

FAX (075) 213-7981

メール smecakyo@mail.joho-kyoto.or.jp

ホームページ <http://www.joho-kyoto.or.jp/~rmckyoto>

印刷所 (株)大美堂印刷社 TEL (075) 314-3111

FAX (075) 314-3122